

大磯町行政経営プランに基づく取組み成果（令和2年度）の概略

1 行政経営プランの概要

- 第四次総合計画後期基本計画（平成28年度～令和2年度）に位置付ける施策の実効性を確保するための財源確保に特化
- 行政の合理化を目指す「行政改革」と、中長期的な財政運営の視点を持つ「財政健全化計画」を統合し、それぞれの性質を併せ持ち、歳入歳出両面から行財政改革を推進

第四次総合計画後期基本計画の計画期間で見込まれる
財源不足（28億7,200万円）の解消を目指す
↓
令和2年度財源確保目標額：約3億9,800万円

【財源確保のための取組みの体系（全13事業）】

(1) 歳入確保の取組み

- ①町税等の収入の確保 (2事業：うち1事業は重複により歳出③にて集計)
- ②受益者負担の適正化 (3事業：うち2事業は重複により歳出③にて集計)
- ③公有財産の処分と活用 (2事業：うち1事業は賃料が据置きに決定したため取組みを終了)
- ④その他の自主的な財源の確保 (3事業：うち1事業は取組みを終了)

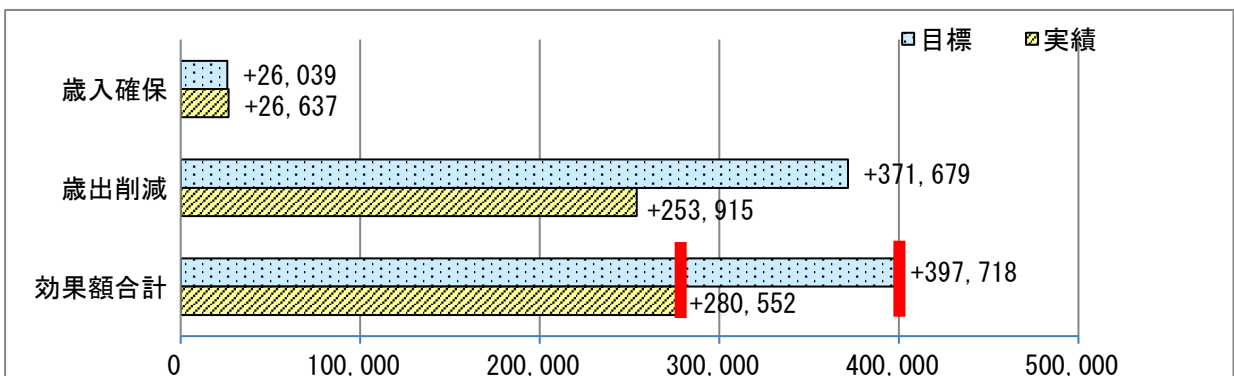
(2) 歳出削減の取組み

- ①事務事業の見直し (4事業)
- ②公共施設の再編 (1事業)
- ③予算規模の抑制・縮小 (3事業)
- ④定員・給与・組織の適正化 (1事業：職場環境改善の取組みのため、平成29年度から取組みを休止)

2 財源確保の取組結果

(1) 実施状況の概要

実施項目	財源確保の状況		
	計画目標 (ア)	実績 (イ)	達成率 (イ)÷(ア)
A 歳入確保の取組み効果額	歳入増 26,039 千円	歳入増 26,637 千円	102.3%
B 歳出削減の取組み効果額	歳出減 371,679 千円	歳出減 253,915 千円	68.3%
C 効果額合計 (A+B)	財源確保 397,718 千円	財源確保 280,552 千円	70.5%
D 解消すべき財源不足額	財源不足 682,000 千円	財源不足 682,000 千円	-
E 実質収支 (C-D)	財源不足 △284,282 千円	財源不足 △401,448 千円	-

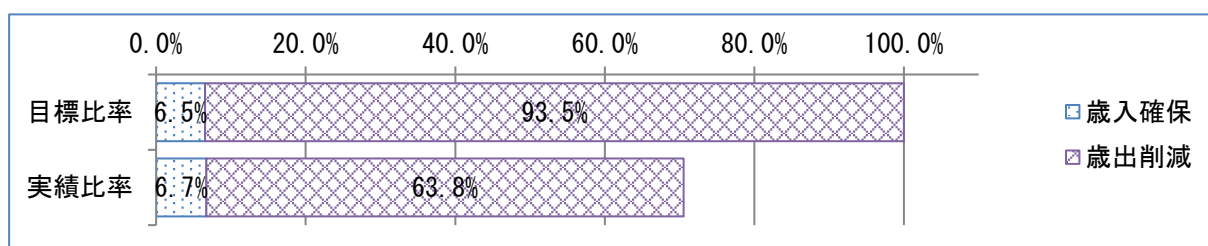


令和2年度は、当初の年次別目標額に対し、効果額の目標額の合計が約3億9,800万円としており、当初から約2億8,000万円の不足を見込んでいました。実施結果を振り返ると、財源確保に向けた13項目の取組みを実施し、年次別目標額に対しては約1億2,000万円の不足となり、効果額の目標額の合計からは4億円の不足が生じるという結果になりました。

項目別に見てみると、歳入確保の取組みに関しては、目標に対し約60万円増での達成を図ることが出来ましたが、歳出削減の取組みに関しては、目標を上回る成果を得られた取組みがあった一方で、従来ほどの歳出削減を図ることができなかった項目もあり、効果額は、年次目標額に対し約1億2,000万円不足し、約68.3%の達成率となりました。

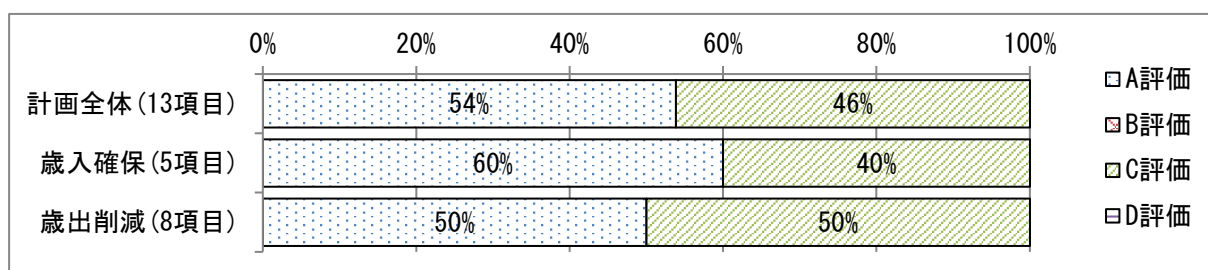
(2) 年次別目標額の達成状況

令和2年度の目標額（約3億9,800万円）に対する、歳入確保及び歳出削減のそれぞれが占める割合は次のとおりです。



(3) 総合評価

- A評価（行動計画通り進行し、目標額を達成した） 7事業（54%）
- B評価（行動計画通り進行しなかったが、目標額は達成した） 0事業（0%）
- C評価（行動計画通り進行したが、目標額は達成できなかった） 6事業（46%）
- D評価（行動計画通り進行できず、目標額も達成できなかった） 0事業（0%）



【参考】 C評価及びD評価の取組み

区分	取組名	評価	実績額	目標額
【歳入】	滞納整理の徹底	C	17,228 千円	25,000 千円
【歳入】	広告料収入の拡大	C	△109 千円	430 千円
【歳出】	行政評価による事務事業の見直し	C	2,063 千円	48,000 千円
【歳出】	ごみ処理広域化に伴う廃棄物処理事業の見直し	C	74,534 千円	113,100 千円
【歳出】	国民健康保険税率の見直し	C	66,435 千円	96,000 千円
【歳出】	国民健康保険税の徴収強化	C	32,301 千円	47,000 千円